

令和 5 年度事業計画書 <グループホーム白楽荘みくにの里>

テーマ：福祉・医療・介護の地域共生社会の中で、安全で安心な魅力ある法人サービスを目指す

サブテーマ：法人の一つの事業所として、「共存・共栄」を創造し、実現可能な介護サービスを展開する

1. 認知症高齢者の心身機能に応じて、皆が笑顔のある安楽な毎日を送れるよう支援する

- ①法人ならびにホームの理念・方針を念頭に、より良い認知症ケアの実践に努める。
- ②利用者の人としての尊厳を守り、一人ひとりの価値観・生活習慣を尊重したケアを提供する。
- ③個々のケアプランのサービス提供内容を把握し、チームスタッフ全員で共有・実践、本人や家族の意向、その人の背景、生活歴をふまえ、その人らしさを発揮できる環境の整備に努める。
- ④感染症の動向を注視しつつ、本来の共同生活の良さを活かしたケアに努める。
- ⑤科学的介護を意識し、丁寧なアセスメントとモニタリングを徹底し、LIFE への情報提出を継続していく。

2. 地域社会の一員として、健全で共に生活を営む機能や役割を果たすための事業所を目指す

- ①各自、専門職としての自覚と責任を持ち、研修の参加・資格取得を推進し、スキルアップを図り介護技術・知識・認知症ケアの専門性を高める。
- ②チームスタッフの身体面・精神面の負担軽減を図るため、業務改善の見直しや有給休暇取得、こまめな対話・定期的な面談など行い、介護力の安定を維持する。
- ③感染症対策の継続と共に、天災・人災への定期的訓練を行い、防災・減災の対応に備える。
- ④みくにの森クリニック・外部公共医療機関とも連携も図りながら、職員の健康管理・精神面の状態把握とケアに努める。